



優秀賞 濱田 萌花 (はまだ もえか) 横山第一小 4年生

作品名：「サンシャイン水族館リニューアル大作戦」を読んで

図 書：サンシャイン水族館リニューアル大作戦

本の最初のページを見た時、ビルの10階・11階の水族館を11ヵ月の間に作り変えるなんて、「間に合うのかなあ。」と思いました。

一ヵ月かけて「生き物ひっこし大作戦」をした後に、水そうの水をぬいて、解体工事をして、ビルの地下では、ミニアクアで生き物を展示したり、「すばらしい水族館をみんなで作ろう委員会」では自由に意見を出して、今までにない水族館を作りを進めていました。

私が一番感心したのは、ビルの柱が見えないように、水そうの中に見せかけの岩を作って暗い海の世界を作り出してあった所です。私だったら、そのような柱はよけて水そうを作るしか思いうかばないと思います。

このように、今までの水族館にはない所が、他にも工夫されていた事が、すごいと思いました。

私は、リニューアル前のサンシャイン水族館とリニューアル後のサンシャイン水族館に行ったことがあります。

その時には、大水そうを広く見せるための工夫や、魚の泳ぐ方向を変える水の流れを作っているなどの細かい所は、気づかなかったので、今度もう一度じっくり観察してみたいです。

私は、この本を読んで、サンシャイン水族館をリニューアルするためには、たくさんの人々のアイデアが取り入れられて、実さいに工事された事がよくわかりました。

私も、これから何か物事を考える時には、「今までやった事がないから出来ない。」とは考えないで、「どのような工夫をすれば出来る。」のかを考えてチャレンジしたいと思います。

最後に、あたりまえに観ていたビルの中の水族館には、多くの人々の工夫や苦勞があって、あたりまえではない事がよくわかりました。